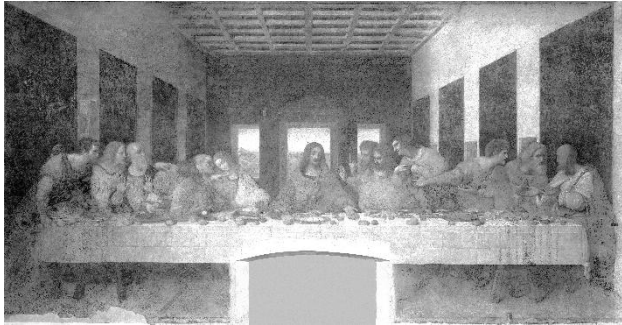




【聖なる過越の三日間】水戸教会でのミサ・祭儀



『最後の晩餐』
レオナルド・ダ・ヴィンチ

✠ 主の晩餐の夕べのミサ 4月2日(木) 19:00~

「主の過越の三日間」は「最後の晩餐」を思い起こすミサで始まります。過越とは、ユダヤ人がエジプトでの奴隷状態から解放されたこと（旧約聖書『出エジプト記』）ですが、それはわたしたちが、キリストによって罪から解放されることの前ぶれでした。

この晩餐で、イエス様は弟子たちの足を洗い『わた

しがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい』(ヨハネ13・34) という新しいおきてを与え、ご聖体と司祭職を制定されました。

✠ 主の受難の祭儀 4月3日(金) 19:00~

本来イエス様の亡くなった午後3時ころからの祭儀ですが、平日日中に集まるのが難しいため夜に行います。沈黙のうちに始まり、第1・2朗読、受難の朗読と説教の後に、十字架の崇敬が行われます。そして、安置所から運ばれたご聖体を拝領し、沈黙のうちに祭儀を終わります。

この沈黙は、十字架の道行の第13留にある「大きな出来事の後、あたりは静けさに包まれています」という光景の追体験であり、その中でわたしたちは主の死を想うのです。

✠ 復活の聖なる徹夜祭 4月4日(土) 19:00~

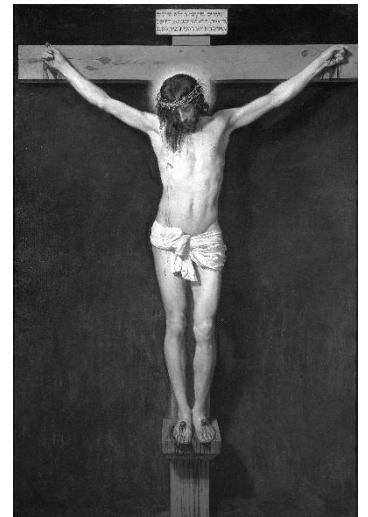
第1部「光の祭儀」では、空虚で真っ暗な聖堂に「キリストの光」が入ってきます。

第2部「ことばの典礼」では、旧約聖書から7つの朗読(今年の水戸教会ではそのうち創世記1・1, 26-31a, 出エジプト14・15~15・1a, イザヤ55・1-11)が選ばれ、人類の歴史を通した神の救いのわざが語られます。「栄光の賛歌」の間に祭壇が整えられ、集会祈願、

使徒書朗読(ローマ6・3-11)、アレルヤ唱の後に福音(マタイ28・1-10)が朗読されます。

第3部は「洗礼の儀」。喜ばしいことに今年には受洗者がいます。それを祝い、感謝するとともに、自分自身の洗礼の約束を更新します。

そして、第4部「感謝の典礼」では、「主の晩餐の夕べのミサ」以降ご不在だったご聖体が、聖堂に戻ってこられます。



『十字架上のキリスト』
ディエゴ・ベラスケス

てんれいぶ がつ てんれいれき せいどう せいたい ひ
【典礼部だより】4月の典礼暦から～聖堂にご聖体がいらっしやらない日～



わたしたちの聖堂の最も奥、聖櫃の中には、ご聖体が安置されています。いつもキリストがいらっしやるからこそ聖堂は聖堂であり、わたしたちは聖堂に出入りするときに十字架を切り、聖櫃の前（聖堂の中心線）を横切るときにはご聖体に対し頭を下げるわけです。

ところが1年で唯一、「聖なる過越の三日間」では、「主の晩餐の夕べのミサ」が終わってから「復活の聖なる徹夜祭」での聖変化まで、ご聖体が聖堂にご不在という期間があります。

普段のミサでもパンとぶどう酒が御体と御血に変えられ、わたしたちは最後の晩餐のその場とつながった時空間を味わうわけですが、聖木曜日「主の晩餐の夕べのミサ」では特に強く最後の晩餐を、イエス様が受難と死を迎える前の晩、わたしたち皆に御体と御血を「いのちの糧」「救いの杯」として与えられたことを思い起こし祈ります。イエス様が弟子たちの足を洗い、「新しいおきて」を与えられたことを思い起こすため、洗足式も行われます。拝領祈願の後、ご聖体は仮祭壇に遷され、聖堂内の聖櫃は空にされ、ご聖体が

いらっしやることを表す赤いランプも消され、祭壇が裸にされます。

聖堂にご聖体のご不在になるのは、『使徒信条』にあるキリストが「ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられて死に、葬られ、陰府に下り」ということの象徴であり、以降「復活の聖なる徹夜祭」まで教会は一切のミサを捧げません。ゆるしの秘跡、病者の塗油、危篤の方の緊急洗礼などを除いて他の秘跡も行われません。受難と十字架を想い、そして「復活の聖なる徹夜祭」に教会の全力を集中させるためです。

聖金曜日「主の受難の祭儀」は、イエス様の受難と死を思い起こし、復活への希望のうちに十字架の勝利を賛美する祭儀（ミサではない）です。ご聖体不在の聖堂では「十字架の崇敬」が行われます。『見よ、この木によって、あまねく世界に喜びが来た』（典332『十字架賛歌』）と歌われるように、禁じられた「木」の実をアダムが食べることで始まった人類の罪が、キリストの十字架という「木」によってあがなわれたことを賛美します。

こうしてわたしたちの教会は、聖土曜日の日没後、「死のかせを打ち砕き、勝利の王として死の国から立ち上がられた」（典342『復活賛歌』）キリストをたたえる「復活の聖なる徹夜祭」において、ご聖体と再会するのです。

典礼部／〇〇〇〇 監修：ルスニ神父・シスター今田